

平成30年度第2回長浜市健康づくり推進協議会 会議録

日 時：平成30年11月1日（木）14：00～15：30

場 所：ながはまウェルセンター2階会議室

【出席者】

湖北医師会：手操会長

湖北歯科医師会：川瀬会長

長浜赤十字病院：楠井院長

湖北薬剤師会：久留島副会長

長浜市立湖北病院：西川事務局長

長浜市民生委員児童委員協議会：早川副会長

健康づくり0次クラブ：大橋副理事長

長浜市小中学校教育研究会養護教諭部会：三原養護教諭

長浜市健康推進員協議会：白川副会長

長浜市社会福祉協議会：鈴木介護事業課長

長浜市連合自治会：川崎様

長浜市老人クラブ連合会：村上理事

市立長浜病院：土川地域医療連携室長

事務局：健康推進課 横田課長・伊藤参事・小寄課長代理・森副参事・岸下副参事・松山副参事
・真壁副参事・井口主幹・高木主査・金戸主事

【代理出席】

湖北健康福祉事務所（長浜保健所）：寺脇係長

【要点録】

1 開会（挨拶：横田健康推進課長）

2 議事

①歯科保健専門部会の結果報告について（資料3）

②心の健康専門部会の結果報告について（資料4）

③健康ながはま21（第4期）素案について（資料1、2、6）

④健康都市宣言について（資料5）

歯科保健専門部会の結果報告について

（川瀬委員より資料に基づき説明）

会 長：学校保健の、親・祖父母世代の小さな子への間食の与え方についても協議されているかと思いますが、そちらもご検討いただければと思います。

事務局：部会で検討いただいたことは健康ながはま21にも関わり、そうしたことが反映されているか、こうした方がいいということがあればご意見をいただきたいです。

また、裏面についてはこれから市内の啓発に使わせていただければと考えています。

歯科保健専門部会発行と書いていますし、これから子ども世代、老人クラブ等に広めていきたいと考えておりますのでそちらについてもご意見いただければと思います。

心の健康専門部会の結果報告について

（事務局より資料に基づき説明）

会 長：今後のスケジュールについてはどうなっていますか？

事務局：今回の意見を踏まえ、12月中旬にパブリックコメントを行います。1月末頃に健康づくり推

進協議会を開催し、そこで内容が確定する流れになります。

委員：15歳から45歳未満の世代において～とありますが、自殺が第1位ということは、他は病気や交通事故が死因と解釈していいですか？

事務局：若年は死亡者数自体が少なく、その中の死因第1位が自殺ということになっています。

委員：自殺が第1位ということは自分で命を絶つ方がいるということで大きな問題だと思います。

会長：自殺だけでなく、14歳くらいまでの死因は不慮の事故が第1位となっています。年齢が高くなるとがんが多いです。がん対策が大きく取り上げられる一方、この世代の主な死因が自殺となっているのに何もしないのかというのは委員の言われる通りです。今回遅ればせながら国をあげて自殺対策を行うということになり、少しずつ状況は変わってきていると思います。

委員：当の患者さんだけでなく、支援する方がまいてしまうこともあります。その場合は、支援が必要な患者さんを支援する人を、また支えないといけなくなるということが起きる。その点がまだまだ弱いので、そのあたりを盛り込んでいただけるとありがたい。企業でも専門の産業医がおられるような数百人規模の企業は浸透してきているが、それ以外の小規模な企業は産業医の言うことが通らなかつたりします。企業の方の意識改革を図っていく場が必要。心の健康ばかりでなく子育てもそうですし、インフルエンザでも出勤しろ、というようなことが日本の文化的にはあり、企業の協力を得る取組を独立して行っていく必要があるのではないかと思います。病院の立場的には病状の説明をしようにも休みや夜しか通院できないと言われるが、他の国ではそういった場合は休みがとれて、しっかりとアポイントがとれることが世界の標準だと思いますので、日本も先進国だという以上はそれに近づけていく必要があります、そういった方向に進んでいかなければならないことになりつつあると思います。

会長：自殺予防において、産業保健、産業医の活動についても医師会でも色々取組を行わせていただいています。過重労働については産業保健の問題として取り組んでも、働き、働かせ方改革の部分も含んでいるため、健康推進課が所管しているこの計画だけで対処することは難しい。どうやって盛り込んでいくか、形にしていくか。なかなか大変な課題だと思います。困難なこともあるかと思いますが、色々な機関とも連携していただけて進めていただきたいと思います。

委員：15歳から45歳未満の世代において自殺となっていますが、大病を罹患し、発作的に自殺することはうつ病の一種と言えるのでしょうか？

委員：うつ病の一種といえばそうですが、がんだと言われると誰でもショックを受けると思います。しかし、正常範囲の人はショックだが2週間くらいたつとその人なりの受け止め方が出来始めるが、うつ病の人というのは、ショックにあったときにどれだけ時間をおいてもショックのまま、落ち込んだまま、何もする気が起きないというのが続きます。厳密にどこからが病気という線引きができるわけではないですが、一定の限度を超えてそういう状態が続く場合は病気と捉える方がいいとなっています。研究レベルではそういった方を診断しようとする試みがあります。

委員：相談窓口は色々な種類の窓口をたくさん作ってもらうと一番いいかもしれない。どこにかけてもなんとなくつないでもらえるような。

会長：周知の仕方も難しい。産業保健で市職員は共済組合に窓口があったり、本人は知っていても家族が知らなかったり、家族が相談したいときにご家族に知っていただけておくのが重要だと思います。

健康ながはま 21 (第4期) 素案について

(事務局より資料に基づき説明)

委員：自殺対策計画の数値目標について14.8以下にするとあるが、なぜこんな高い数値を挙げて

いるのか。グラフの、35年までみると落ちてきているように思えます。下げるように努力して自殺者を減らしていく必要があると思います。

事務局：県の方針で、平成27年を指標にして34年までに15%減少するという減少率を掲げていますので平成28年を指標にして15%減少としています。近年は減少しているが、起伏のある自殺死亡率になるのでこういった形にしています。

会長：なぜ平成28年と比較するか理由が気になります。また、人口10万人当たりと書いていただけると理解しやすいと思います。

委員：ただ国・県に合わせるだけでなく、長浜市の意気込みとしてどうしたいかだと思います。目標値としては0を目指しているし下げてもいいのではないかと思います。できなければできないで×をつければいい。

会長：次回の部会でご検討いただきたいと思います。

委員：禁煙ですが、敷地内禁煙とあるが隣接する公道を禁煙としていただけるとありがたい。それから、飲酒については、ドライバーが飲まないというのは色々な文言でポスターとか貼っているが、そこに妊婦さんも加えていただき、目的は交通安全と健康で違うが、同じことをしていただくということで啓発をしていただけるといいと思います。

高齢者のフレイルについては運動だけでなく栄養もあり、高齢になると食に細くなる、特にタンパク質の摂取量が少ない、なので栄養について取り上げていただきたいのと、高齢者向けの料理教室みたいなものを企画してもらえるといいと思います。

ソーシャルキャピタルについて、地域社会で力を発揮しようみたいなスローガンを作られるといいと思います。

すべての分野に関わりますが、企業を巻き込んで健康づくりを企業ぐるみでしていくという取組を取り入れていただきたいと思います。そのためには企業経営者等に啓発活動や意見のすり合わせや取組にあたっての相談など商工会議所等と調整いただければと思います。

会長：長浜赤十字病院のあたりは路上喫煙禁止エリアではないのでしょうか？

事務局：含まれていなかったかと記憶しています。

委員：禁煙すると色々な目的意識が出てくるのでその辺りはすり合わせいただければと思います。

会長：市役所も敷地内禁煙ですか？

事務局：今は建物内禁煙となっています。

会長：広い敷地をもっておられる施設は中で吸えないので外で吸うとなると住民からの苦情もあり、そういったところを禁煙にする場合、する側の労力もかかるかと思います。中期的な目標でいざ禁煙としていただければと思います。

委員：フレイルについて、いい概念だと思います。しかし、専門書を読んだ際、自分の地域でも進めたいと思いましたが、国の施策であるため、行政が進め、行政のもとで動かないといけなさと書いていました。長浜市がフレイルを進めて、各地域に推進していく気持ちがないと進まないと思いましたが、認可やサポーターも必要になるとのことで、長浜市にそういったことを行う姿勢はあるのでしょうか？滋賀県では実践例はないと思います。岐阜県等では行っているらしく、実践状況を聞きたいと思っていますが、システムとして、長浜市と話をして申請しないとできないようになっています。するにあたっては予算もいりますし、フレイルという言葉だけに乗らないように気をつけたほうがいいと思います。

委員：アンケートの回収率はどれほどですか？

事務局：約3割ほどです。

委員：紙でなくともいいのでpdf等で配布していただきたいです。

事務局：お配りさせていただきます。詳細な回収率は31.9%です。

会 長：歯のブラッシングについて、むし歯対策というより、歯周病には非常に有効で、生活習慣としてよいことだと思います。

また、がんについて個人で心がけることとして特定健診を定期的に受診するとあります。特定健診のがん対策については肥満や、たばこのことも質問の項目にありますが、リスクを減らすという意味合いでは現状の特定健診は少なくなってきたと感じました。

健康都市宣言について

(事務局より資料に基づき説明)

委 員：多くの自治体の宣言は心がけましょうというものですが、実効性には疑問が残ります。もともと健康に関心がある方は自分から取り組まれるが、一番底上げしなければならないのは関心がない方ですので個人である住民とその家庭、地域で取り組んでいくこと、企業や職域で取り組んでいくこと、公的機関で取り組んでいくこと、そういうことをしっかり述べる宣言にした方がいいと思います。地域に関しては行政が支援する、企業や職域に関しては協力を求めるといった形で、本当にすみよい街ができると謳われている宣言がいいのではないかと思います。

会 長：資料1についてむびょうたん+1がありますが、「たん」に自殺予防を含めていることがわかる文言であったり、ここがメインだと前面に出していただけるとありがたい。

委 員：予算措置はありますか？

事務局：都市宣言をするという前提での予算要求はして、決定は3月議会になります。イベントや啓発に使えるような内容を考えています。

委 員：イベントを来賓等呼んでする1日行、というものでしょうか。具体的な取組に対しての予算というわけではないのですか？

委 員：栄養教室を料理の作り方含めてすると楽しめるし、栄養の知識もつく。企業の経営層に健康問題に配慮するように啓発ことによって働きやすい職場を作ることによって活性化し、まちの活性化がすれば企業がうるおい、経済効果を考えながら考察してもらう等、色々なアプローチがあると思うので、折角宣伝もしますし、種まきはどこかでしていかないといけないと思います。

事務局：長浜市の健康に対する意識は高くない中で、すでに予算がついているものもありますが、特に重点的に取り組むこととして、むし歯予防、喫煙、塩分、運動と具体的に市民に啓発する費用や研修会をしたりする費用として考えています。ご意見いただき、詳細をつめていきたいと考えています。

会 長：市民の意見を議員、議会を通じて予算化につなげる一つの力になるかと思う。市、担当課も高らかに都市宣言するというこでつなげていけるのでそれは委員の皆様もわかっていたらいいと思う。

事務局：この協議会で是非という声があると内部で話をするのに心強いと思います。

委 員：住民への指針の中にフレイルやCOPDといった言葉よりわかりやすい言葉があれば考えた方がいいと思いました。

委 員：具体的な行動を取り上げて社会参画するスローガンや、タンパク質をとるとか具体的な行動をあげた方がいいということですね。

会 長：既にわかりやすくする努力はしていただいていると思いますが、こういったご意見もありますのでよろしくをお願いします。

3 閉会（挨拶：健康推進課長）